

チャイルド・ファンド・ジャパンだより

[スマイルズ] 2011年6月NO.23

SMILES

<http://www.childfund.or.jp>



「We are with you! ～あなたはひとりじゃない!～」

マニラのスラム地区、オールド・サンタ・メサに住むチャイルドたちから、
被災した子どもたちへエールが届きました。

「ぼくたちも応援しています!」

写真:センター45(ルソン島 マニラ)

ChildFund
Japan

チャイルド・ファンド・ジャパンは、1975年より、
アジアを中心に貧困の中で暮らす子どもの健やかな成長、
家族と地域の自立を目指した活動をしています。

東日本大震災特集号

緊急・復興支援活動

緊急・復興支援活動を開始いたしました

東日本大震災で、ご家族や親しい方をなくされた方々や生活の糧を失った方々の深い悲しみ、そして、津波により大きな被害を受けた原子力発電所からもたらされる不安は、あまりにも大きいものがあります。被災され、今もなお困難な生活をされている方々をおぼえ、一日も早い生活の建て直しを心からお祈りいたします。

大震災の後、チャイルド・ファンド・ジャパンには、国内の支援者の方々から、被災地域の方々への支援の問い合わせ、期待、そして寄付が届きました。さらに、私たちの海外事務所やチャイルド・ファンド・アライアンスの加盟団体から、「We are with you! ～あなたはひとりじゃない!～」というメッセージと共に支援の申し出が寄せられました。私たちは、こうした期待、メッセージ、そして協力に力を得て、緊急・復興支援事業を開始いたしました。

チャイルド・ファンド・ジャパンは、私たちが目指すビジョン(目標)、「すべての子どもに開かれた未来を約束する国際社会の形成」を実現するため、「We are with you! ～あなたはひとりじゃない!～」というメッセージと共に、一人でも多くの人に、一人でも多くの子どもに、必要とされる支援を届けて参ります。引き続きご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

事務局長 小林 毅

世界の裏側からメッセージが届いています。一部をご紹介します。

今回の震災で被災した皆様に心よりのお見舞いを申し上げます。

皆様のお互いを思いやる心は、本当に賞賛に値します。このことにより日本は今回の災害からの復興を通してさらに強い国となるでしょう。世界中の人々の心と祈りはいつも皆様と共にあることをどうぞおぼえてください。

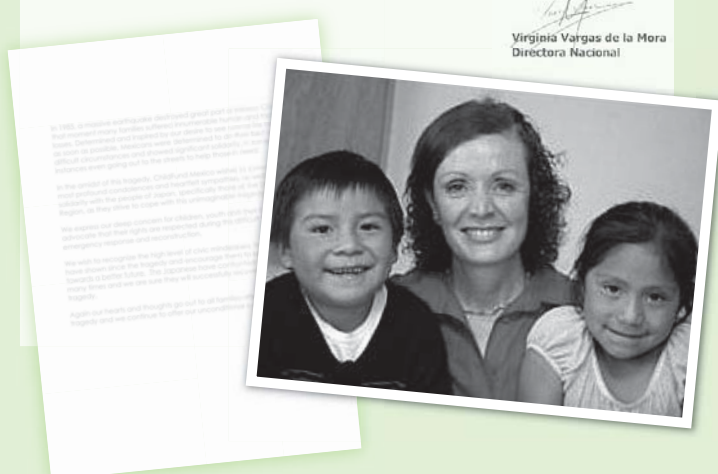
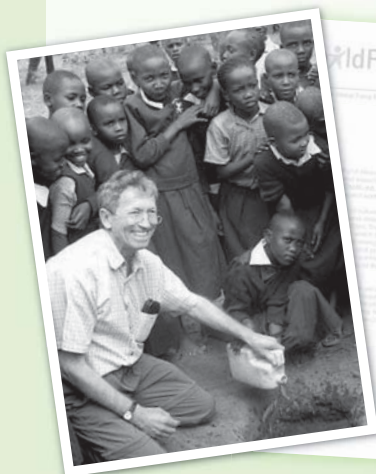
チャイルド・ファンド・アライアンス
事務局長 デヴィッド・テイラー



メキシコは1985年に大地震に見舞われ、大きな被害が出ました。その時、メキシコの人々は連帯して災害に立ち向かいました。今回の日本の震災に際し日本の方々との連帯を願い、心よりのご支援を送ります。

チャイルド・ファンド・メキシコ
事務局長 ビルヒニア・バルガス・デ・ラ・モラ

Virginia Vargas de la Mora
Directora Nacional



緊急物資を支援 ～皆様の温かい心を物資と共に届けました～

チャイルド・ファンド・ジャパンが、東日本大震災への支援活動の開始を決定し、まず最初に始めたのは、被災した方々への緊急物資の支援です。物資は、被災した方々が必要としているものを届けなければなりません。チャイルド・ファンド・ジャパンは、物資の受け入れ先を探し始めました。福島県南相馬市で地域の地区長をされているスポンサーの鈴木利将さんにご連絡したところ、南相馬市の災害担当の方を紹介してくださいました。一方、初回の搬送では物資の調達とガソリンの入手には苦労しました。東京都内でも地震の影響ですでに品切れが続出、スタッフはあちこちを駆けずり回り、なんとかワゴン車一杯のインスタント食品や日用品を集めました。また、ガソリンは杉並区内のガソリンスタンドが優先的に入れてくれました。3月17日午後、事務所を出発。福島第一原子力発電所から30km圏内にある避難所に無事に物資を届けることができました。

緊急物資支援は、個人の方や企業からお寄せいただいた物資、ご寄付で合計5回、約5トン以下のように届けました。

運搬月日	運搬先	物資の内容
3月17日	南相馬市	食糧、日用品
3月24日	名取市、仙台市	食糧
4月1日	名取市、石巻市	食糧、野菜
4月9日	石巻市	食糧、野菜、日用品
4月15日	大船渡市	食糧



南相馬市の避難所に物資を届けた。左端はスポンサーの鈴木さん。中央、事務局長の小林。南相馬市は事務所のある杉並区と災害時の相互協定を結んでいる。(3月17日)

4月1日、NGO、ピースボートが石巻市で行なっている炊き出し用の野菜(じゃがいも、にんじん、大根、たまねぎ、長ネギ)などを届けました。野菜類は翌日トン汁に調理され、避難所や、自宅にいても電気、ガス、水道が断たれたため、おにぎりなど冷たい食事しか食べられなかった方々に配布することができました。「久しぶりの温かい食事で、暖まる」、「野菜が不足していたので嬉しい」と大変好評でした。不足している野菜類を支援するため、4月9日にピースボートに再度1トンの野菜類と、レトルト食品を届けました。



石巻市での炊き出し。野菜入りの温かい食事に笑顔が。おかわり、大盛りの希望が出るほどの人気。(4月2日)



石巻市に支援物資が到着後、ボランティアの方々によって積み下ろし。野菜はすぐに調理される。(4月9日)

「We are with you! ～あなたはひとりじゃない!～」プロジェクトを開始しました。

今回の大震災で家族や友だちを失ったり、家を失った子どもたちがたくさんいます。今もなお、避難所や仮設住宅で不自由な生活を続ける子どもたちがいます。子どもたちが一日でも早く元気になって欲しいと願い、チャイルド・ファンド・ジャパンは、励ましのメッセージと文房具を贈る「We are with you! ～あなたはひとりじゃない!～」プロジェクトを4月より開始しました。

このプロジェクトで大切にしていることは、人と人が繋がり、心と心が繋がることです。これこそ私たちが36年間の国際協力活動で育んできたものです。この点に共感してくださった、青山学院幼稚園の園児たち、青山学院初等部や立教女学院小学校の生徒たちが、またフィリピンやネパールではチャイルドたちがこのプロジェクトに参加してくれています。被災して困難な生活をしている子どもたちを想い、心温まるメッセージを記し、絵を描いてくれました。「お祈りしています」や「節電に励んでいます」といったメッセージが多くあり、相手を思いやり、できることに取り組んでいる様子をうかがうことができます。

被災した子どもたちは、心のこもったメッセージを受け取ることで、「自分はひとりではない」ということに気づき、元気づけられ、メッセージを贈った子どもと心を繋げることができることを願っています。

緊急・復興支援事業に携わる中で、避難所でも元気に遊ぶ子どもたちの笑顔に出会うことがあります。子どもたちの笑顔に家族や周りの大人たちは勇気づけられます。子どもたちの笑顔、それは今後の復興の大きな鍵であると確信します。

(支援者サービスグループ・緊急支援調整員 滝藤奈都子)

メッセージと文房具をお届けしました!

大船渡市のカトリック大船渡教会でWe are with you!のメッセージ付き文房具の配布を行いました。大船渡市、陸前高田市などに住むフィリピン人のためにフィリピン語のミサが行われ、40人ほどのフィリピン人が出席しました。そこに集った子どもたち30人に、メッセージ付き文房具を配布しました。「ありがとう!」と嬉しそうにメッセージ付き文房具を受け取り、メッセージを一生懸命読んでいる姿が印象的でした。



メッセージ付き文房具セットを渡す事務局のスタッフ(左手前、小林事務局長、4人目滝藤奈都子)。(5月23日)

みんなからのメッセージ



We are with you!

フィリピンのチャイルドと描いたメッセージ



メッセージを入れた文房具の箱詰めをしているところ



まだ字の書けない子どもは絵でメッセージを描きます



完成したメッセージを持って

被災後の子どもの こころのケアの手引き

～子どもたちの立ち直りをサポートするために～

チャイルド・ファンド・ジャパンが、被災した子どもたちのためにできることとして取り組んだのが、「被災後の子どものこころのケアの手引き」です。

今回の震災は、広い地域を襲い、また、被災の内容も複雑でした。被災した多くの子どもたちがこころのケアを必要とし、また、繰り返し流されるニュース映像で多く子どもが心の傷を経験する可能性があります。しかし、医療や臨床心理の専門家のケアを受けることのできる子どもの数は限られます。学校、家庭、地域で子どもたちと向き合う様々な立場の大人たちが子どものこころのケアについての知識と理解を一層深めることが必要と考え、この手引きが誕生しました。

手引きは、第1章で、被災後に子どもに表れる一般的な症状、阪神淡路大震災の筆者の経験を踏まえたこころの問題の捉え方をわかりやすく説明しています。第2章では、学校・家庭・地域で子どもに対してどのように働きかけたらよいか、というヒントや具体的な活動事例を、子どもの年齢グループ別に紹介しています。これらの事例は、2001年9月11日に起きたアメリカ同時多発テロ事件の際、子どもと向き合う大人のためにチャイルド・ファンド・アライアンスの米国の団体が作成したマニュアルの一部をボランティアの方に和訳協力いただき、日本の状況に合った形に一部加工したものです。

今後は、子どものこころのケアに取り組む大人を対象としたワークショップ、震災で家族など大切な人、家、仕事、などを失い喪失感の中にいる方々と向き合う援助者のためのプログラム(グリーンワーク)を各地で実施する予定です。震災発生から2か月を過ぎても、未だ、避難所その他での不便な生活が続き、住まい、仕事など、生活の見通しをたてることができない方々は、こころの問題に取り組む余裕もないのが現状です。しかし、長い復興の道のりに向き合っていくためには、こころと体の健康がますます大切になってきます。その道のりをチャイルド・ファンドも、皆様と共に歩んでいきたいと考えています。



完成した手引き



この「被災後の子どものこころのケアの手引き」を
無料でお送りします。
ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

TEL:03-3399-8123
E-mail: childfund@childfund.or.jp

手引きをご覧になった方からのコメントをご紹介します。

石巻で被災し、ようやくアパートに移ったところです。石巻では児童クラブの指導員をしていたので、指導員の仲間の中で、子どもに対して何かしたいと話し合っていたところ、この手引きを知り、活用したいと思いました。

(児童クラブ指導員:石巻市)



とても内容の濃い、実践的な手引きですね。しっかり勉強させていただきます。被災地で実際に子どもに関わっている先生や保育士さんなどや親御さんを対象に、講師を派遣していただいて、自分自身の心のケアを含めたワークショップなどをしていただけるとよいのではないかと考えています。(小児科医:仙台市)



※イラストは支援者の絵本作家、のぶみさんよりご提供いただきました。

緊急・復興支援活動の現状と今後

ネットワークを活かして岩手県大船渡市で活動

震災後、「岩手県は県外からのNGOの受け入れがやや遅れ気味」という情報が入り、支援者でもある酪農学園大学(北海道江別市)や日本基督教団奥羽教区と協働して、岩手県で活動することにしました。具体的には、一週間交代で活動する大学生のボランティアの方々と一緒に、大船渡市社会福祉協議会が設置した「災害ボランティアセンター」から割り当てられる業務にあたり、大船渡教会を拠点に実施される被災者向け支援物資の配布をサポートしています。

大船渡市は岩手県の太平洋沿岸南部に位置しており、震災前には約15,000世帯、およそ41,000人が暮らしていました。今回の震災は、死者312人、行方不明者150人、全壊・半壊した家屋3,629戸と大きな被害をもたらしました。郷土岩手を愛した宮沢賢治は、その作品の中に登場する理想郷を、岩手をもじって「イーハトーブ」と表現しました。チャイルド・ファンド・ジャパンは、その岩手県の復興を大船渡市を中心に支援していきます。

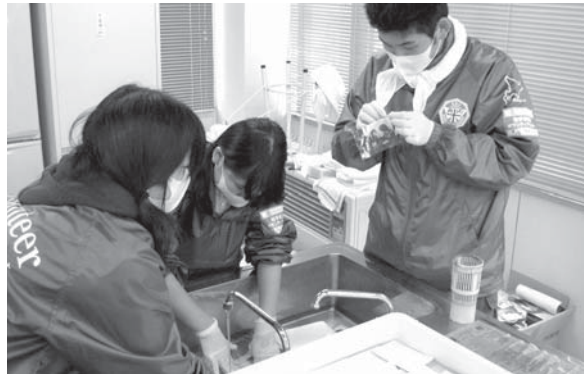
今後に向けて

緊急・復興支援事業のひとつの柱を大船渡市を中心とした岩手県の復興支援活動として、避難所や仮設住宅で必要な支援を担うと共に、「被災後の子どものこころのケア」、「グリーンワーク」、「We are with you!」プロジェクトは岩手県に限定することなく、宮城県や福島県などで被災した方々の支援を念頭に、実施して参ります。

どうかご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



被災状況を視察する大学生ボランティア



海水などで傷んだ写真の修復作業



避難所マップの制作



大船渡教会での支援物資配布

新スタッフ

船戸義和がプロジェクト・マネージャーとして加わりました

船戸は、チャイルド・ファンド・ジャパンが行う緊急・復興支援事業の全体の管理や調整を担っています。また、大船渡市での活動を継続するため、チャイルド・ファンド・ジャパンが遠野市に設置した「遠野拠点」で、学生ボランティアと共同生活をし、緊急・復興支援事業を推進しています。

大船渡市社会福祉協議会(災害ボランティアセンター)の依頼により、市内に34か所ある避難所の実態を調査し、避難所マップを完成させた。後列右端が船戸。酪農学園大学のボランティアの方々と。後列左は、調整員として岩手へ派遣された、支援者サービスグループの滝藤奈都子



被災された支援者の皆様へ

東日本大震災により被災された皆様や被災者に関する皆様に、
心からのお見舞いを申し上げます。
皆様のご健康が守られ、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

この度の大震災で、支援者の皆様の中にも被災地域にお住まいの方々が大勢いらっしゃいます。
ご無事であったとお便りをいただく一方で、ご家族やご友人を亡くされた方々からもご連絡をいただき、
心を痛めております。私どもは、いつもチャイルドたちの成長を見守り、寄り添ってくださる支援者の皆様と
共にありたいと願っています。事務局では、被災された方やご家族が被災された皆様からの
チャイルドへの支援金納入について、ご相談を承っております。ご遠慮なくご連絡ください。

電話:03-3399-8123 支援者サービスグループ

お手紙を書くときは・・・

東日本大震災は世界中で報道され、チャイルドたちはスポンサーの皆様をとっても心配しています。
それと同時に、原発事故・放射能の話題にも敏感です。チャイルドたちの不安や心配を増すことがないように、
お手紙ではご自身のご無事をお伝えくださるようお願いいたします。

チャイルド・ファンド・ジャパンは 東日本大震災への緊急支援募金をおこなっています。

..... ご送金方法

クレジットカードによるご送金 (JCB・アメリカンエクスプレス・VISA・Master)

下記ホームページ、「プロジェクト・緊急・復興支援事業に
寄付する」よりお手続きください。

<https://www.childfund.or.jp/form/project.php>

コンビニエンスストアからのご送金

下記ホームページ、「プロジェクト・緊急・復興支援事業に
寄付する」よりお手続きください。

<https://www.childfund.or.jp/form/project.php>

コンビニエンスストアでお支払いいただける用紙を
お送りいたします。

銀行からのご送金

下記ホームページ、「プロジェクト・緊急・復興支援事業に
寄付する」よりお手続きください。

<https://www.childfund.or.jp/form/project.php>

お手続き後、下記口座にお振込みください。

三井住友銀行 西荻窪支店 普通預金口座 0920355
口座名:特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン

ゆうちょ銀行からのご送金

ゆうちょ銀行窓口にある「払込取扱票」に必要事項を
ご記入の上、ご送金ください。

郵便振替口座:00170-8-196462

口座名義:特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン

尚、振込用口座番号は下記のとおりです。

0一九(ゼロイチキュウ)店(019) 当座 0196462

※クレジットカードや金融機関からの自動引落を設定されている支援者様は寄付金額を事務局までお知らせください。
次回引落時に金額を上乗せしてお引き落としすることが可能です。

インフォメーション コーナー

お知らせ 2011年度の予算について

2011年3月の総会で2011年度の事業計画と予算が承認されました。しかし、その後、東日本大震災への緊急・復興支援事業を開始したため、現在、事業計画と予算を修正しています。改めてご報告いたしますので、どうぞご了承ください。

お知らせ チャリティコンサート日時決定のお知らせ

3月13日(日)に予定しておりました「～フィリピンの子どもたちを学校へ!～ヴァイオリン・歌・ピアノとハンドベルによるチャリティコンサート」を延期いたしました件では、皆様には大変ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。改めてお詫び申し上げます。開催日時が決定いたしましたのでお知らせいたします。

- 【日時】2011年10月16日 日曜日
午後3時30分(午後3時開場)
- 【場所】青山学院大学 ガウチャー記念礼拝堂
(東京都渋谷区渋谷4-4-25青山キャンパス15号館)
※当初予定していた会場と同じです。
- 【出演・演奏曲】現在調整中です。曲目を変更することもございますが、どうぞご了承ください。
- 【チケット】お手元にあるチケットを当日会場にお持ちください。

尚、当日ご都合が合わない場合はご返金いたします。恐れ入りますが、チャイルド・ファンド・ジャパン事務局(電話:03-3399-8123 E-Mail:childfund@childfund.or.jp)までご連絡くださいますようお願いいたします。

お願い ご家庭に眠っている古本を、今年も送ってください

一企業との協働イベント **チャリティ古本市2011開催決定!**
昨年に引き続き企業5社と協働でチャリティ古本市を(9月5日から9日までの予定)開催します。お読みになった古本をぜひ送ってください。

〇お送りいただきたい本

- ・文庫・新書(17×11cmのサイズ)
- ・単行本(新書サイズより大きい、ハードカバーの本)
- ・児童書
- ×受付けられないもの
- ・雑誌・週刊誌・コミック誌・非売品(同人誌・パンフレットなど)



送付先:チャイルド・ファンド・ジャパン『古本市係』
住所:東京都杉並区善福寺2-17-5
担当:支援者サービスグループ
電話:03-3399-8123

申し訳ございませんが、送料はご負担願います。
締め切りは**8月29日(月)**です。古本市の日時、場所など詳しい内容はチャイルド・ファンド・ジャパンのホームページで追ってお知らせします。

ご報告 2つの地域のチャイルドと家族が自立を迎えました

フィリピンの支援地域であるセンター45と、センター30の一部地域は、チャイルドの親たちが立ち上げた住民組織を通して奨学金を提供するなど、教育や地域の問題を自分たちで担うまでに成長することができました。チャイルド・ファンド・ジャパンとセンターは協議の結果、本年5月末で各地域への支援を終結することに合意しました。人々のこのような成長は皆様からの大きなご支援の賜物です。深く感謝いたします。

お知らせ twitter(ツイッター)始めました!

twitter(ツイッター)を始めました。チャイルドたちへの支援活動、東日本大震災への支援活動、団体の情報を随時つぶやいています。ぜひフォローしてください。
<http://twitter.com/#!/ChildFundJapan>(検索は「ChildFundJapan」)、ホームページに掲載してあるバナーからもアクセスできます)



クリック

お願い クリック募金にご協力ください。

クリック募金のクリック数が減ってきています。どうぞご自宅や職場のパソコンからクリックをお願いします。クリック募金はチャイルド・ファンド・ジャパンのホームページにある左記のバナーをクリックすればどなたでも簡単にできます。(クリックした方が寄付金の請求をうけることはありません。) <http://www.childfund.or.jp/>



ご報告 杉並区でキャンペーンを実施しました

チャイルド・ファンド・ジャパンの事務所がある杉並区で1月から2月に実施いたしました「杉並区民の手でネパールに学校を!」キャンペーン、おかげさまで目標(15,000枚)以上のハガキを皆様からお送りいただきました。
たくさんのおハガキが事務所に届きました。



寄贈いただいたハガキの枚数	19,879枚(857,896円分)
寄贈いただいた切手の金額	756,166円
その他寄附いただいた金額	61,100円
総額	1,675,162円

ご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。

ご報告 冬募金キャンペーン、目標達成!

2010年12月よりご協力をお願いしていましたネパールの「子どもにやさしい学校環境整備プロジェクト」へのご支援は2月28日までに、8,889,847円(1,071口)のご協力をいただき、目標の800万円を達成いたしました。皆様の温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

ChildFund Japan Vision Mission

チャイルド・ファンド・ジャパンはここに掲げるビジョン(目標)、ミッション(使命)に基づいて活動します。

ビジョン(目標)

すべての子どもに開かれた未来を約束する国際社会の形成

ミッション(使命)

生かす生かされる国際協力を通じて子どもの権利を守る

チャイルド・ファンド・アライアンス ChildFund Alliance

人種、宗教、性別、国籍を問わず世界の子どもたちに、効果的な支援活動をするためのネットワークで、子どもたちに向けたスポンサーシップ・プログラムを行う12団体から構成されています。チャイルド・ファンド・ジャパンは2005年4月に加盟しました。

スマイルズ
＜チャイルド・ファンドだより SMILES＞ 2011年6月発行
〒167-0041 東京都杉並区善福寺2-17-5
特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン
理事長 深町正信(青山学院名誉院長) 事務局長 小林毅
TEL. 03-3399-8123 FAX. 03-3399-0730
E-mail:childfund@childfund.or.jp
URL: <http://www.childfund.or.jp/>

〈デザイン〉
モスデザイン研究所
〈印刷〉
有限会社東西印刷

